

『リベラルアーツ学群プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この履修モデル集は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

履修モデル集は、各プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望するプログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にし履修を行って下さい。
- ・とくに、プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各プログラムを修了するためにはメジャー32単位、マイナー16単位の科目を修得することが必要ですが、どのプログラムも、それをはるかに上回る数の科目を提供しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたテーマの例にそったカリキュラムを示したものです。
- ・各プログラムの「履修モデル」ページには、そのプログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、そのプログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、30のプログラムがありますが、この冊子には、各プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心あるプログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、モデルのとおり履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたりベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

環境学プログラム

履修のしかた

- 環境学は積み上げ型ではないので、先修条件を課している科目は少ない。多くの科目を 2 年次に履修することができるが、基本的には基礎、専門、発展と履修するのが望ましい。
- 環境学は理系と感ずるかもしれないが、様々なアプローチの方法があるため、人文領域、社会領域の学生も興味深く学修できる。
- LA 専門基礎科目の「環境学入門」を 1 年次で履修するのが望ましい。

他のプログラムとの関係

- 環境学は総合的な学問であり、個々の興味や関心に応じて、自由にマイナーを組み合わせることができる。例えば(統合領域以外との組合せの例として)；
 - 環境問題の普及啓発に関心があるなら：コミュニケーション学、心理学
 - 環境問題の思想的背景に関心があるなら：宗教学、哲学
 - 環境と文明の興亡や文化的背景に関心があるなら：歴史学、文化人類学
 - 地球規模の環境問題の国際ルールや政策に関心があるなら：法・政治学
 - 環境問題の解決に向けた市場メカニズムや金融措置に関心があるなら：経済学
 - 環境問題の原因と社会のありように関心があるなら：社会学
 - 環境科学に関心があるなら：化学、生物学
 - 地球環境シミュレーションモデルに関心があるなら：情報科学、物理学
 - 環境教育に関心があるなら：教育学

留学・教職その他

- 東京都の認定資格である ECO-TOP プログラムを修得したい場合は、メジャー認定単位に加えて、インターンシップを含む指定された科目を履修することが必要である。履修ガイドの ECO-TOP プログラムの修了要件を参照すること。インターンシップは2年秋学期から 3 年春学期の休業期間に実施することを念頭に短期留学などを考えること。
- 海外留学をする場合、早めに必要な科目を履修しておくことが望ましい。

学生へのメッセージ

今、どんな環境問題が起こっているのか？何が原因でどうすれば解決できるのか？ 環境問題に単純明快な答はありません。そこが環境学のややこしくておもしろい点です。環境学は社会経済・自然科学・文化・健康など人間に関わるほとんどの問題と絡み合うため、総合的に学べるLA学群ならではの学問です。

また、環境学の知識は社会に出てからどんな仕事でも活かれますし、必須でもあります。また私たちの日常生活とも密接に関連します。

環境を学ぶということは、「つながりに気づき、自ら行動する」ことに他なりません。専攻演習や探究サービスラーニング科目においても、現場に立って環境問題を考え、体験や実践を通じて自ら行動する力を養ってください。環境を学ぶことを通じて得られる洞察力や行動力は皆さんの大きな力となることでしょう。

環境学プログラム

1 社会・人文科学専門向けメジャー履修モデル

環境学は総合的な学問であるので、文系・理系にとらわれず幅広く学ぶことが望ましいものですが、この履修モデルは、環境学を社会科学、人文科学を中心に学んでいく場合の履修科目の例を示したものです。法学、経済学、社会学、国際関係などとあわせて学ぶことで、将来、行政や企業、NPO/NGOにおいて事務職として活動する際に活かすことができるでしょう。

注:「環境学入門」はLA専門基礎の自然科学の科目であり、メジャー完成の32単位には換算されません。

環境学プログラム科目

level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎	○	環境文明論	2	○	文系のための環境科学	2						
	○	地球環境問題と国際取組	2	○	環境とまちづくり	2						
				○	環境と地域	2						
専門科目				○	エネルギーと環境	2		社会統計学	2			
				○	人と自然	2		野外安全管理	1			
					環境生物学	2		ECO-TOPインターンシップ事後研修	1			
				○	化学と人間社会	2						
					環境化学	2						
				○	地球システム科学	2						
					地球規模環境論	2						
				○	感覚公害論	2						
					環境リスク論	2						
					気象学	2						
				○	人間環境学	2						
					持続可能な社会	2						
					江戸から学ぶ環境	2						
					環境ビジネス論	2						
					SDGsとグローバルガバナンス	2						
				○	環境倫理学	2						
調査手法					ECO-TOPインターンシップ事前研修	1						
					ECO-TOPインターンシップA	1						
					ECO-TOPインターンシップB	1						
					ECO-TOPインターンシップC	1						
発展科目					ECO-TOPインターンシップD	1						
								自然環境調査法	2			
								地球環境調査法	2			
								○ 社会環境調査法	2			
								○ 生活環境調査法	2			
					生態学Ⅰ	2	○	環境経済学	2			
					生態学Ⅱ	2	○	環境教育論	2			
					循環型社会論	2	○	環境法学	2			
					環境マネジメント論	2	○	食品安全論	2			
								環境アセスメント論	2			
								○ 環境社会学A	2			
								○ 環境社会学B	2			
								環境NPO・NGO	2			
								環境とメディア	2			
								環境学特別講義	2			

その他の推奨科目〔 〕内は単位数

- 環境学入門〔2〕
- ・ 統計学入門〔2〕
- ・ 人文探究(日・中・英文学における「自然」)〔2〕
- ・ 自然探究(実感する化学)〔2〕
- ・ 社会探究(水をめぐる歴史と社会)〔2〕
- ・ 自然探究(マクロ生物学への招待)〔2〕

環境学プログラム

2 自然科学専門向けメジャー履修モデル

環境学は総合的な学問であるので、文系・理系にとらわれず幅広く学ぶことが望ましいものですが、この履修モデルは、環境学を、自然科学を中心に学んでいく場合の履修科目の例を示したものです。自然科学系科目が中心ですが、環境学の自然科学系科目は、文系の学生が履修可能な内容を提供しています。苦手意識を持たずに履修をしてみましょう。地球物理学、化学、生物学などとあわせて学ぶことで、将来、行政や企業、NPO/NGOにおいて技術職として活動する際に活かすことができるでしょう。注:「環境学入門」はLA専門基礎の自然科学の科目であり、メジャー完成の32単位には換算されません。

環境学プログラム科目

Level カテゴリ	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎	○	環境文明論	2	○	文系のための環境科学	2						
	○	地球環境問題と国際取組	2		環境とまちづくり	2						
					環境と地域	2						
専門科目				○	エネルギーと環境	2		社会統計学	2			
				○	人と自然	2		野外安全管理	1			
				○	環境生物学	2		ECO-TOPインターンシップ事後研修	1			
				○	化学と人間社会	2						
				○	環境化学	2						
				○	地球システム科学	2						
				○	地球規模環境論	2						
				○	感覚公害論	2						
				○	環境リスク論	2						
				○	気象学	2						
					人間環境学	2						
					持続可能な社会	2						
					江戸から学ぶ環境	2						
					環境ビジネス論	2						
					SDGsとグローバルガバナンス	2						
				○	環境倫理学	2						
					ECO-TOPインターンシップ事前研修	1						
					ECO-TOPインターンシップA	1						
					ECO-TOPインターンシップB	1						
					ECO-TOPインターンシップC	1						
					ECO-TOPインターンシップD	1						
調査手法							○	自然環境調査法	2			
							○	地球環境調査法	2			
								社会環境調査法	2			
							○	生活環境調査法	2			
発展科目				○	生態学Ⅰ	2		環境経済学	2			
					生態学Ⅱ	2		環境教育論	2			
					循環型社会論	2		環境法学	2			
					環境マネジメント論	2		食品安全論	2			
							○	環境アセスメント論	2			
							○	環境社会学A	2			
								環境社会学B	2			
								環境NPO・NGO	2			
								環境とメディア	2			
								環境学特別講義	2			

その他の推奨科目〔 〕内は単位数

- 環境学入門〔2〕
- ・ 統計学入門〔2〕
- ・ 人文探究(日・中・英文学における「自然」)〔2〕
- ・ 自然探究(実感する化学)〔2〕
- ・ 社会探究(水をめぐる歴史と社会)〔2〕
- ・ 自然探究(マクロ生物学への招待)〔2〕

環境学プログラム

3 社会・人文科学専門向けマイナー履修モデル

環境学は総合的な学問であるので、文系・理系にとらわれず幅広く学ぶことが望ましいものですが、このマイナー履修モデルは社会・人文科学系のプログラムをメジャーとする学生が環境学における自然科学的な知識を得ることを目的に作成してあります。リストにある科目はモデルです。興味関心を深めるために必要かどうかを自分で判断するとよいでしょう。注:「環境学入門」はLA専門基礎の自然科学の科目であり、マイナー完成の16単位には換算されません。

環境学プログラム科目

Level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎		環境文明論	2	○	文系のための環境科学	2						
		地球環境問題と国際取組	2		環境とまちづくり	2						
					環境と地域	2						
専門科目				○	エネルギーと環境	2		社会統計学	2			
				○	人と自然	2		野外安全管理	1			
					環境生物学	2		ECO-TOPインターンシップ事後研修	1			
				○	化学と人間社会	2						
					環境化学	2						
				○	地球システム科学	2						
					地球規模環境論	2						
					感覚公害論	2						
					環境リスク論	2						
					気象学	2						
				○	人間環境学	2						
					持続可能な社会	2						
					江戸から学ぶ環境	2						
					環境ビジネス論	2						
					SDGsとグローバルガバナンス	2						
				○	環境倫理学	2						
					ECO-TOPインターンシップ事前研修	1						
					ECO-TOPインターンシップA	1						
					ECO-TOPインターンシップB	1						
					ECO-TOPインターンシップC	1						
					ECO-TOPインターンシップD	1						
調査手法							○	自然環境調査法	2			
								地球環境調査法	2			
								社会環境調査法	2			
								生活環境調査法	2			
発展科目					生態学Ⅰ	2		環境経済学	2			
					生態学Ⅱ	2		環境教育論	2			
					循環型社会論	2		環境法学	2			
					環境マネジメント論	2		食品安全論	2			
								環境アセスメント論	2			
							○	環境社会学A	2			
								環境社会学B	2			
							○	環境NPO・NGO	2			
								環境とメディア	2			
								環境学特別講義	2			

その他の推奨科目〔 〕内は単位数

- 環境学入門〔2〕
- ・ 統計学入門〔2〕

環境学プログラム

4 自然科学専門向けマイナー履修モデル

環境学は総合的な学問であるので、文系・理系にとらわれず幅広く学ぶことが望ましいものですが、このマイナー履修モデルは自然科学系のプログラムをメジャーとする学生が環境学における社会・人文科学の基礎的な知識を得ることを目的に作成してあります。リストにある科目はモデルです。興味関心を深めるために必要かどうかを自分で判断するとよいでしょう。注:「環境学入門」はLA専門基礎の自然科学の科目であり、マイナー完成の16単位には換算されません。

環境学プログラム科目

level カテゴリー	100			200			300			400		
	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位	推奨	科目名	単位
基礎	○	環境文明論	2		文系のための環境科学	2						
	○	地球環境問題と国際取組	2	○	環境とまちづくり	2						
				○	環境と地域	2						
専門科目					エネルギーと環境	2		社会統計学	2			
				○	人と自然	2		野外安全管理	1			
					環境生物学	2		ECO-TOPインターンシップ事後研修	1			
				○	化学と人間社会	2						
					環境化学	2						
				○	地球システム科学	2						
					地球規模環境論	2						
					感覚公害論	2						
					環境リスク論	2						
					気象学	2						
				○	人間環境学	2						
					持続可能な社会	2						
					江戸から学ぶ環境	2						
					環境ビジネス論	2						
					SDGsとグローバルガバナンス	2						
					環境倫理学	2						
調査手法					ECO-TOPインターンシップ事前研修	1						
					ECO-TOPインターンシップA	1						
					ECO-TOPインターンシップB	1						
					ECO-TOPインターンシップC	1						
					ECO-TOPインターンシップD	1						
発展科目								自然環境調査法	2			
							○	地球環境調査法	2			
								社会環境調査法	2			
							○	生活環境調査法	2			
					生態学Ⅰ	2		環境経済学	2			
					生態学Ⅱ	2		環境教育論	2			
					循環型社会論	2		環境法学	2			
					環境マネジメント論	2		食品安全論	2			
								環境アセスメント論	2			
								環境社会学A	2			
								環境社会学B	2			
								環境NPO・NGO	2			
								環境とメディア	2			
								環境学特別講義	2			

その他の推奨科目〔 〕内は単位数

- 環境学入門〔2〕
- ・ 統計学入門〔2〕